

# ◆ 言語学研究専門分野（言語学副専攻）

## 【05年次生以降】

### 1. 言語学研究専門分野（言語学副専攻）の開講科目は、次のように分類される。

- I 全学共通科目（外国語学部基礎科目）
- II 研究科目
  - 1. 中心科目
  - 2. 関連科目
  - 3. 個別語学科目
  - 4. 通訳科目
- III 演習科目
- IV 卒業論文・卒業研究

- \* 上記の科目は外国語学部の学生には言語学研究専門分野科目として、他学部の学生には言語学副専攻科目として開講される。
- \* 履修上の注意に指定された要件を満たした場合は、履修証明が交付される。
- \* 個別の科目は、履修上の注意に特に指定がない限り、履修証明取得を目的としない場合にも、また外国語学部の学生については言語学研究専門分野に届出をしていない場合にも履修できる。

### 2. 履修上の注意

- \* 外国語学部の説明p.244～245と合わせて読むこと。
- \* 科目に付記されている科目記号の定義については、外国語学部の説明p.244に解説があるので参照すること。

#### ① 履修証明取得に必要な単位と科目

研 究 科 目	16単位（うち中心科目8単位、関連科目4単位、個別語学科目4単位）
演 習 科 目	4単位
卒業論文・卒業研究	6単位
合 計	26単位

この他に全学共通科目（外国語学基礎科目）「言語と人間Ⅰ、Ⅱ」4単位を履修しておくことが望ましい。

- (1) 外国語学部の学生が履修証明（言語学研究履修証明）を取得するためには「専門分野」として所属学科に「言語学研究」を届け出なければならない。届出手続きについては、外国語学部の説明p.244～245を参照のこと。
  - (2) 外国語学部以外の学生も上記の条件を満たせば履修証明（言語学副専攻履修証明）を取得できる。
  - (3) 個別語学科目に充当できるのは、科目表「個別語学科目」で指定した科目のうち、所属学科開講科目のみである。
- #### ② 履修証明の交付について
- (1) 履修証明の交付は学生の申請に基づくものとする。
  - (2) 外国語学部の学生の申請手続きについては、外国語学部の説明p.245を参照すること。
  - (3) 外国語学部以外の学生は、1月末日までに所定用紙に必要事項を記入の上、言語学副専攻主任宛てに手続きをとること。手続きの詳細については12月にLoyola掲示板で通知する。
- #### ③ その他の注意
- (1) 4.「開講科目担当表」備考欄に旧「○○○」と記載された科目は、科目名および科目記号を変更したものである。これらの科目は、新科目と同一科目とみなすので、既に旧科目名で修得した科目は、新科目名で履修しても、卒業に必要な単位として認められない。
  - (2) 演習科目については、旧科目名で既に修得した科目を新科目名で履修した場合には、2回までの重複履修を認める。ただし、他学科開講の演習科目については、当該学科のページを参照し、その指示に従うこと。
  - (3) 言語学特殊講義は担当者が変更になった場合のみ重複履修を認める。
  - (4) 個別語学科目については、各学科のカリキュラムを参照すること。

#### ④ 卒業論文・卒業研究について

- (1) 卒業論文・卒業研究は①「履修証明取得に必要な単位と科目」のうち、卒業論文・卒業研究以外の条件を既に満たすか、または卒業年度内に満たすことが予想される者に限り、その作成にとりかかることができる。
- (2) 外国語学部の学生は「専門分野」として「言語学研究」に届け出をしていなくてはならない。
- (3) 登録

履修登録はLoyolaにて言語学研究専門分野の「卒業論文・卒業研究」の登録コード (FLG90100) で行うこと。(指導教員が言語学副専攻以外の所属であっても言語学研究で卒論を作成する場合は必ずこの登録コードで登録すること。) また履修登録とは別に、指導教員と相談の上、所定の届出用紙2通に記入して、5月末日までに主査教授・言語学副専攻主任にそれぞれ提出すること。(届出用紙はLoyola掲示板・言語学副専攻事務室に用意する)

#### (4) 卒業論文内容

- ・ 論文形式の研究成果で、表紙、目次、本文、注記、文献目録からなる。指導は主査と副査の2人による。
- ・ 規格については、下記のとおり。その他、詳細については指導教員の指示に従うこと。

規 格：A4判、縦書・横書どちらでも可

綴じ方：製本（簡易製本可）

その他：原則としてワープロで書く。指導教員と相談の上、日本語以外での執筆も可

#### (5) 卒業研究内容

- ・ 論文形式以外の研究成果で、形式においては卒業論文とは異なるものの、内容と完成に要する知的な努力においては卒業論文と同等とみなされるものでなければならない。テーマになり得るかどうかについては演習担当教員と相談すること。提出物は、研究成果物とその成果物に対する解説・解題資料等の文書化されたもの（400字詰め原稿用紙20枚程度）からなる。指導は主査および副査の2人による。
- なお、研究成果を紙以外の媒体で提出する場合は、上書きできないようにプロテクトした状態のもの（例：CD-ROMもしくはDVD等）を媒体としたうえで、文書化した解説資料と媒体を袋に入れ、袋の表紙に提出票（学事センターにて配布）を貼付する形で提出すること。

#### (6) 提出

- ・ 期間：2010年12月9日（木）～15日（水）午後5時まで
- ・ 場所：学事センター（教務）窓口

### 3. 科目表（数字は単位数）

I 全学共通科目		社会言語学	4
言語と人間Ⅰ（外国語学部基礎科目）	2	応用言語学1	2
言語と人間Ⅱ（外国語学部基礎科目）	2	応用言語学2	2
		言語学史1	2
II 研究科目		言語学史2	2
1. 中心科目		言語学特殊講義1（ロマンス語研究）	2
言語学概論1	2	言語学特殊講義2（ロマンス語研究）	2
言語学概論2	2	日本語教育特殊講義1	2
一般音声学1	2	日本語教育特殊講義2	2
一般音声学2	2	日本語史1	2
文法論1	2	日本語史2	2
文法論2	2	日本語教授法Ⅰ	2
音韻論1	2	日本語教授法Ⅱ	2
音韻論2	2	方言調査理論A	2
意味論1	2	方言調査理論B	2
意味論2	2	言語障害学概論	2
日本語学概説1	2	言語障害学特殊講義A（失語症）	2
日本語学概説2	2	言語障害学特殊講義B（言語発達遅滞）	2
2. 関連科目		3. 個別語学科目	
翻訳論	4	言語習得入門	2
言語情報論	2	心理言語学入門	2
コーパス言語学	2	英語学入門1	2
認知心理学Ⅰ	2	英語学入門2	2
認知心理学Ⅱ	2	バイリンガル教育	4

第2言語習得研究1	2	日本語史	4
第2言語習得研究2	2	(HISTORY OF THE JAPANESE LANGUAGE)	
コミュニケーション英文法	4	日本語教授法概論 I	4
音声言語と言語修得	4	(TEACHING METHODS AND PEDAGOGICAL GRAMMAR)	
英語科教育法 I	2	日本語教授法概論 II	4
英語科教育法 II	2	(TEACHING METHODS AND LANGUAGE ACQUISITION)	
英語科教育法 III	2	日本語教授法概論 III	4
英語科教育法 IV	2	(TEACHING METHODS AND SOCIOLINGUISTICS)	
英語科教育法	4	言語緒論特講	4
ドイツ文法1	2	(TOPICS IN LINGUISTICS)	
ドイツ文法2	2	日本語教授法演習 I	4
ドイツ語翻訳入門A	2	(TEACHING METHODS AND BEGINNING JAPANESE)	
ドイツ語翻訳入門B	2	日本語教授法演習 II	4
ドイツ語通訳入門A	2	(TEACHING METHODS AND BEGINNING JAPANESE)	
ドイツ語通訳入門 B	2		
ヨーロッパ言語社会論1	2	4. 通訳科目	
ヨーロッパ言語社会論3	2	通訳入門 (日英) A-1	2
ドイツ語科教育法 I-1	2	通訳入門 (日英) A-2	2
ドイツ語科教育法 I-2	2	通訳入門 (日英) B-1	2
ドイツ語科教育法 II	2	通訳入門 (日英) B-2	2
文献講読・主題探求演習7 (言語)	2	通訳入門 (日仏) 1	2
文献講読・主題探求演習8 (言語)	2	通訳入門 (日仏) 2	2
フランス語学研究B-1 (日仏語の意味比較)	2	通訳中級 (日英) 1	2
フランス語学研究B-2 (日仏語の意味比較)	2	通訳中級 (日英) 2	2
ヨーロッパ言語社会論2	2	通訳上級 (日英) 1	2
ヨーロッパ言語社会論4	2	通訳上級 (日英) 2	2
フランス語科教育法 I	2	III 演習科目	
フランス語科教育法 II	2	演習 (文法論・意味論) I	2
フランス語科教育法 III	2	演習 (文法論・意味論) II	2
西語学概論	2	演習 (応用言語学) I	2
西語学特論A	2	演習 (応用言語学) II	2
西語学特論B	2	演習 (日本語学) I	2
西語史A	2	演習 (日本語学) II	2
西語史B	2	演習 (音声学・音韻論) I	2
イスパニア語科教育法 I	2	演習 (音声学・音韻論) II	2
イスパニア語科教育法 II	2	演習 (言語障害学)	2
ロシア語文献研究1	2	演習 (ドイツ語研究A) 1	2
ロシア語文献研究2	2	演習 (ドイツ語研究A) 2	2
ロシア語文法1	2	演習 (ドイツ語研究B) 1	2
ロシア語文法2	2	演習 (ドイツ語研究B) 2	2
応用ロシア語文法1	2	演習 (ドイツ語研究C) 1	2
応用ロシア語文法2	2	演習 (ドイツ語研究C) 2	2
ロシア語史1	2	演習1 (フランス語学)	2
ロシア語史2	2	演習2 (フランス語学)	2
古代ロシア語1	2	演習 (西語学A1)	2
古代ロシア語2	2	演習 (西語学A2)	2
ロシア語科教育法 I	2	演習 (西語学B1)	2
ロシア語科教育法 II	2	演習 (西語学B2)	2
ポルトガル語圏研究特講B	2	演習 (ポルトガル語学1)	2
日ポ対照研究	2	演習 (ポルトガル語学2)	2
ポルトガル語文法	2	演習 (言語研究1)	2
ポルトガル語史	2	演習 (言語研究2)	2
ポルトガル語研究入門	2	IV 卒業論文・卒業研究	6
ポルトガル語科教育法 I	2		
ポルトガル語科教育法 II	2		

#### 4. 開講科目担当表

履修度	科目コード	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	備考
選択科目	<研究科目> (中心科目)						
	660105	言語学概論1	2	春	加藤 泰彦	1～4	
	660106	言語学概論2	2	秋	加藤 泰彦	1～4	
	650302	一般音声学1	2	春	*小島 慶一	1～4	旧「一般音声学」[50名], 注1
	650303	一般音声学2	2	秋	*小島 慶一	1～4	旧「同上」[50名], 注1
	660222	文法論1	2	春	*加藤 孝臣	1～4	旧「文法論」「文法論A」
	660223	文法論2	2	休講	福井 直樹	1～4	旧 同上
	660231	音韻論1	2	春	篠原 茂子	1～4	
	660232	音韻論2	2	秋	篠原 茂子	1～4	
	660404	意味論1	2	春	泉 邦寿	1～4	
	660405	意味論2	2	秋	泉 邦寿	1～4	
	661005	日本語学概説1	2	休講	加藤 泰彦	1～4	
	661006	日本語学概説2	2	休講	加藤 泰彦	1～4	
	(関連科目)						
	660810	翻訳論	4	春	*谷口 由美子 *作間 由美子 *唐 亜明 *菱木 晃子 *BINARD Arthur	2～4	輪講 [110名], 注1
	662304	言語情報論	2	春	RUIZ TINOCO Antonio	2～4	旧「言語情報論A」
	662305	コーパス言語学	2	休講	RUIZ TINOCO Antonio	2～4	
	154012	認知心理学 I	2	春	道又 爾	2～4	(他) 心理学科
	154022	認知心理学 II	2	秋	道又 爾	2～4	(他) 心理学科
	662203	社会言語学	4	秋	BRITTO Francis	2～4	
	671110	応用言語学1	2	春	渡部 良典	2～4	旧「応用言語学」
	671120	応用言語学2	2	秋	渡部 良典	2～4	旧「同上」
	662120	言語学史1	2	春	高橋 由美子	2～4	旧「言語学史 I」
	662121 (隔)	言語学史2	2	秋	高橋 由美子	2～4	旧「言語学史 II」
	672014	言語学特殊講義1 (ロマンス語研究)	2	春	*小川 定義	2～4	
	672015	言語学特殊講義2 (ロマンス語研究)	2	秋	*小川 定義	2～4	
	661603 (隔)	日本語教育特殊講義1	2	春	小柳 かおる	2～4	旧「日本語教育特殊講義 I」
	661604 (隔)	日本語教育特殊講義2	2	休講	小柳 かおる	2～4	旧「日本語教育特殊講義 II」
	671203 (隔)	日本語史1	2	休講	本橋 辰至	2～4	
	671204 (隔)	日本語史2	2	休講	本橋 辰至	2～4	
	671302	日本語教授法 I	2	春	*ペレラ柴田奈津子	2～4	旧「日本語教授法」
	671303	日本語教授法 II	2	秋	*ペレラ柴田奈津子	2～4	旧「同上」
	671400	方言調査理論A	2	春	*井上 史雄	2～4	
	671410	方言調査理論B	2	秋	*井上 史雄	2～4	
652130	言語障害学概論	2	春	進藤 美津子	2～4	旧「言語障害学概論1, 2」	
672100	言語障害学特殊講義A (失語症)	2	春	*長塚 紀子	2～4		
672150	言語障害学特殊講義B (言語発達遅滞)	2	秋	原 恵子 *市島 民子	2～4	輪講	

履修度	科目 コード	授業科目	単 位	開講期	担当者	年次	備考
選択科目	<b>(個別語学科目)</b>						
	<b>各学科参照</b>						
	<b>(通訳科目)</b>						
	671509	通訳入門 (日英) A-1	2	春	*北 島 多 紀	2・3	[40名], 注1
	671510	通訳入門 (日英) A-2	2	秋	*北 島 多 紀	2・3	[40名], 注1
	671507	通訳入門 (日英) B-1	2	春	*安 保 尚 子	2・3	[30名], 注1
	671508	通訳入門 (日英) B-2	2	秋	*安 保 尚 子	2・3	[30名], 注1
	671902	(隔) 通訳入門 (日仏) 1	2	春	*宇都宮 彰 子 *藤 田 美 香	3・4	輪講
	671903	(隔) 通訳入門 (日仏) 2	2	秋	*宇都宮 彰 子 *藤 田 美 香	3・4	輪講
	671602	通訳中級 (日英) 1	2	春	*本 郷 好 和	3・4	
	671603	通訳中級 (日英) 2	2	秋	*本 郷 好 和	3・4	
	671801	通訳上級 (日英) 1	2	休講		3・4	
	671802	通訳上級 (日英) 2	2	休講		3・4	
	<b>&lt;演習科目&gt;</b>						
	670916	(重) 演習 (文法論・意味論) I	2	休講	福 井 直 樹	3・4	旧「演習 (文法論・意味論)」
	670917	(重) 演習 (文法論・意味論) II	2	休講	福 井 直 樹	3・4	旧 同上
	670952	(重) 演習 (応用言語学) I	2	春	和 泉 伸 一	3・4	旧「演習 (応用言語学)」
	670953	(重) 演習 (応用言語学) II	2	秋	和 泉 伸 一	3・4	旧「同上」
	670921	(重) 演習 (日本語学) I	2	春	加 藤 泰 彦	3・4	旧「演習 (日本語学)」
	670922	(重) 演習 (日本語学) II	2	秋	加 藤 泰 彦	3・4	旧「同上」
	670918	(重) 演習 (音声学・音韻論) I	2	春	篠 原 茂 子	3・4	旧「演習 (音声学)」 旧「演習 (音声学・音韻論)」
	670919	(重) 演習 (音声学・音韻論) II	2	秋	篠 原 茂 子	3・4	旧「演習 (音声学)」 旧「演習 (音声学・音韻論)」
	670956	(重) 演習 (言語障害学)	2	秋	原 惠 子	3・4	
	546923	(重) 演習1 (フランス語学)	2	春	TUCHAIS Simon	3・4	(他) フランス語学科
	546924	(重) 演習2 (フランス語学)	2	秋	TUCHAIS Simon	3・4	(他) フランス語学科
	530391	(重) 演習 (ドイツ語研究A) 1	2	春	新 倉 真 矢 子	3・4	(他) ドイツ語学科
	530392	(重) 演習 (ドイツ語研究A) 2	2	秋	新 倉 真 矢 子	3・4	(他) ドイツ語学科
	530393	(重) 演習 (ドイツ語研究B) 1	2	春	高 橋 由 美 子	3・4	(他) ドイツ語学科
	530394	(重) 演習 (ドイツ語研究B) 2	2	秋	高 橋 由 美 子	3・4	(他) ドイツ語学科
	530395	(重) 演習 (ドイツ語研究C) 1	2	春	吉 田 有	3・4	(他) ドイツ語学科
	530396	(重) 演習 (ドイツ語研究C) 2	2	秋	吉 田 有	3・4	(他) ドイツ語学科
	554706	(重) 演習 (西語学A1)	2	春	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	(他) イスパニア語学科
	554707	(重) 演習 (西語学A2)	2	秋	RUIZ TINOCO Antonio	3・4	(他) イスパニア語学科
	554708	(重) 演習 (西語学B1)	2	春	西 村 君 代	3・4	(他) イスパニア語学科
	554709	(重) 演習 (西語学B2)	2	秋	西 村 君 代	3・4	(他) イスパニア語学科
584721	(重) 演習 (ポルトガル語学1)	2	春	大 野 隆 雄	3・4	(他) ポルトガル語学科	
584722	(重) 演習 (ポルトガル語学2)	2	秋	大 野 隆 雄	3・4	(他) ポルトガル語学科	
584781	(重) 演習 (言語研究1)	2	休講	市之瀬 敦	3・4	(他) ポルトガル語学科	
584782	(重) 演習 (言語研究2)	2	休講	市之瀬 敦	3・4	(他) ポルトガル語学科	
<b>&lt;論文&gt;</b>							
605905	卒業論文・卒業研究	6	通年	演習科目担当教員	4		

注1：備考欄で定員数を[ ]で囲んだ科目は抽選科目である。詳細については、要覧共通編 p.17 を参照すること。